

令和 2 年度

# 決 算 報 告 書

第 1 7 期事業年度

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 3 1 日

国立大学法人 東京大学

## 令和2年度 決算報告書

国立大学法人東京大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	87,197	87,936	739	(注1)
うち補正予算による追加	367	367	-	
施設整備費補助金	14,017	8,803	△5,214	(注2)
うち補正予算による追加	37	37	-	
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	10,539	18,487	7,948	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	145	173	△28	
自己収入	74,189	70,651	△3,537	
授業料、入学金及び検定料収入	15,008	14,818	△189	
附属病院収入	52,986	49,303	△3,682	(注4)
財産処分収入	746	-	△746	(注5)
雑収入	5,447	6,529	1,082	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	67,640	71,299	3,659	(注7)
引当金取崩	34	41	7	
長期借入金	4,610	6,702	2,092	(注8)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	3,467	2,477	△989	(注9)
出資金	5,418	4,075	△1,343	(注10)
計	267,259	270,648	3,389	
支出				
業務費	159,783	151,491	△8,292	(注11)
教育研究経費	104,282	101,075	△3,206	
診療経費	55,501	50,416	△5,085	
施設整備費	20,438	15,678	△4,759	(注12)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	10,356	18,246	7,889	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	67,640	66,994	△646	(注14)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	3,621	2,971	△649	(注15)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
出資金	5,418	4,075	△1,343	(注16)
計	267,259	259,457	△7,801	
収入-支出	-	11,191	11,191	

※本報告書は百万円未満切り捨てにより作成しております。

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、追加予算の交付により、予算額に比して決算額が739百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、一部事業翌年度繰越等のため、予算額に比して決算額が5,214百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国及び地方自治体からの新型コロナウイルス感染症対策のために病院へ措置された補助金等により、予算額に比して決算額が7,948百万円多額となっております。また補助金等収入には、授業料等減免交付金240百万円が含まれておりますが、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 附属病院収入については、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた患者数の受け入れや医療施設の通常の稼働等が困難となったため、予算額に比して決算額が3,682百万円少額となっております。
- (注5) 財産処分収入については、一部事業の翌年度以降繰越により、予算額に比して決算額が746百万円少額となっております。(予算額の746百万円は、前年度以前の収入を基礎としております。)
- (注6) 雑収入については、財産貸付料収入等の増収により、予算額に比して決算額が1,082百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等及び受託事業等の獲得に努めたこと等により、予算額に比して決算額が3,659百万円多額となっております。
- (注8) 長期借入金収入については、当該年度に国立大学法人等債を新規に発行して資金調達を実施したため、予算額に比して決算額が2,092百万円多額となっております。
- (注9) 目的積立金取崩については、一部事業の翌年度繰越により、予算額に比して決算額が989百万円少額となっております。
- (注10) 出資金については、一部事業の翌年度繰越により、予算額に比して決算額が1,343百万円少額となっております。
- (注11) 業務費については、新型コロナウイルス感染症の影響によって、教育研究及び診療の業務が大幅な制約を受けたため、予算額に比して決算額が8,292百万円少額となっております。
- (注12) 施設整備費については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が4,759百万円少額となっております。
- (注13) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が7,889百万円多額となっております。また補助金等収入のうち授業料等免除に使用した分は、補助金等の支出に計上されております。
- (注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、新型コロナウイルス感染症の影響により研究や事業が大幅な制約を受けたため、予算額に比して決算額が646百万円少額となっております。
- (注15) 長期借入金償還金については、新型コロナウイルス感染症の影響により附属病院収入の大幅な減収が資金繰りに及ぼす影響を軽減するため、償還期限の延期が措置された等により、予算額に比して決算額が649百万円少額となっております。